

新組織運営も承認

今年度の三役体制は、代表 松本富美子、副代表 小川正徳、総務部長、内山堅次、経理部長 小川京子の4名です。役員は、伊豆素子、松岡裕子、松藤純子で総勢7名大勢です。また、試食会を開催する地域では、プロジェクトを推進する実行委員が都度編成されて、試食会参加者募集や食材の準備、当日のお料理、運営を協力して進めるなどの新しい方式になります。

お豆腐づくりに挑む

北海道折笠農場の無農薬大豆が手に入り、2月千葉の君津まで出かけました。大豆づくりの講習を11名が君津市民会館で現地スタッフから、3時間の講習を受けました。



お豆腐作りに取り組む

9月24日世田谷野沢でお豆腐作り

9月24日に野沢の無農薬野菜バグラスで定員5名のお豆腐教室参加費千円で開催です。



参加希望の方役員まで申し込で下さい。



平成28年度総会で試食会新方式承認

H28年度総会が、6月20日港区神明プラザで開催されました。参加者13名に委任状17名で総会は成立して開催となりました。28年度事業方針で昨年との違いは、①役員会は三役で開催する、②試食会は神明1か所から、4か所分散型開催を提案し承認されました。役員会の三役開催は、毎月役員全員が集合する方式から、三役（代表、副代表、総務部長、経理部長の4名）で毎月開催し、全員での役員会は、年1回の事業方針を討議する場に集合することにしました。また、事業ごとのプロジェクトは都度実行委員を募集します。試食会は、毎回神明プラザでしたが、これから①神明プラザ、②世田谷地区、③川崎地区④館山地区でそれぞれ年2回開催を目指していきます。地域らしい内容を考えながら、黒豚と大豆は協会の指定を使い、野菜は地域の無農薬を利用して開催していきます。



三軒茶屋で 試食会50名参加

世田谷開催は、新方針を踏まえ昨年の秋から会場探しからはじめました。他地区からも集まりやすいということから、三軒茶屋のキャロットタワー4階を会場にして4月2日土曜日開催になりました。募集人員50名は大変な人数ですが、スタッフ協力でハンバーグやサラダの準備をしました。今回は、初めてこども無料にしました。幼児を始め4名の子供が参加しました。土のめぐみ土田社長に来て頂き、阿蘇の野菜のトークを聞きました。松本代表からも、体験からくる協会へのメツッセージや、小川副代表の遺伝子組み換え大豆の話がありました。



幕別・折笠農場見学

7月29日（金）に帯広の隣町幕別町の折笠農場を5名で訪ねました。約束の13時過ぎに到着しましたが、折笠さんが到着を待っていてくれました。農場は70ヘクタール（21万坪）あり、全体の8割が従来型農業で農薬を使い2割（4万坪）で無農薬、または自然農法に取り組んでいます。幕別の無農薬農業は、雑草との戦いで本州の害虫とは違う取り組みでした。これは北海道が北緯45度と高く、気温が低いことと考えられます。本州では1300メートルの高さで農業をしていると思えば取り組む問題が違うことになります。特にジャガイモは、350種類の種芋を実験して、美味しくなければ取り組む意味がないと熱心な姿勢に感銘しました。



